

お寺の子ども会 西教寺進徳 だより 日曜学校

西教寺蔵本通支坊 2012. 2.10 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

お正月

おしょう
和尚が二人で「おしょうが2（お正月）」。
冗談はさておいて、一月の日曜学校は冬休み中
がよいだろうと日程変更。すると逆に都合がつか
ない方が多くて今月は三名でした（すみませ
ん）。おつとめの後は、お作法のお勉強。（三尊
姿勢の次、「合掌」のお勉強。（『せいいてん』P34）



どうですかこの尊い姿！
仏さまのご縁にあえばこそですね。

日本古来の遊び

その後ゲーム。最近の子どもの遊びといえばテ
レビゲーム。正月ぐらい昔からある日本の遊びを
と思い、ここ数年は「親鸞さま双六」をしていま
した。今年は「おしゃかさまジャンボかるた」。

ちなみに「双六」「かるた」って、なんだか変な
言葉ですね。調べてみると双六は、さいころを振っ
て双方とも最大値である六のゾロ目がいかに出る
かを競ったゲームだったので「双六」。起源は古代
エジプト→ローマ帝国、シルクロードを通じて中
国から日本に伝わったものとのこと。聖武天皇以

次回お寺の子ども会は、

3月10日（日）9時～10時

遊くんと施南くんが卒業です。皆さん
ご予定下さいね。その次は花まつり。

4月14日（日）13時30分～

来、上流階級に親しまれ、昨年の大河ドラマ「平
清盛」のモチーフにもなっていました。『平家物語』
には、白河法皇が「賀茂河の水、双六の賽、山法師、
是ぞわが心になわぬもの」と嘆いたという逸話

もあり、ドラマでは後白河法皇と平清盛が何かに
つけ双六で勝負していました。ドラマで登場する
双六は、双六というよりバックギャモン。調べると
バックギャモンの和名が双六とのこと。

また「かるた」はポルトガル語の carta に由来し、
音写（あて字）して「歌留多」「加留多」。いずれ
も日本古来の遊びではなかったのです。羽子板も
中国、コマも古代朝鮮半島の高麗（コマ）もしく
は中国産の遊びということ。全部輸
入品でした。仏教だってインドから
伝わったものですし、ついでにいうと



日本古来の伝統文化

（本当は宗教）と学校で教わる「神
話・神道」も、東アジア一帯にみら
れる神話や民俗宗教（シャーマニズ
ム）で、日本独自の伝統文化とはい
いがたいものです。

つまり私たちの生活、日本文化は、
日本独自のというよりは、世界との
文化交流によって成り立っているも
のなんですね。最近では、排外的な
考えを持つ人たちの発言や行動が
どんどん大きくなっていて、日本は
どこへ行ってしまおうのか心配です。
親鸞さまは、「遠く通ずるにそれ四
海のうちみな兄弟とするなり。」と
おっしゃっています。「兄弟」は「仲
良く」ですよ。



「いの札」「いわさき先生超ステキ。」「はい!!」(笑)